

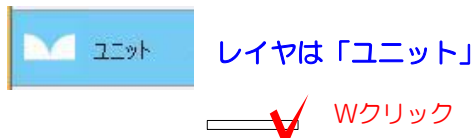
表札に立体的な文字を入れる方法（曲線に沿った文字）

表札に立体的な文字を入れることができます。

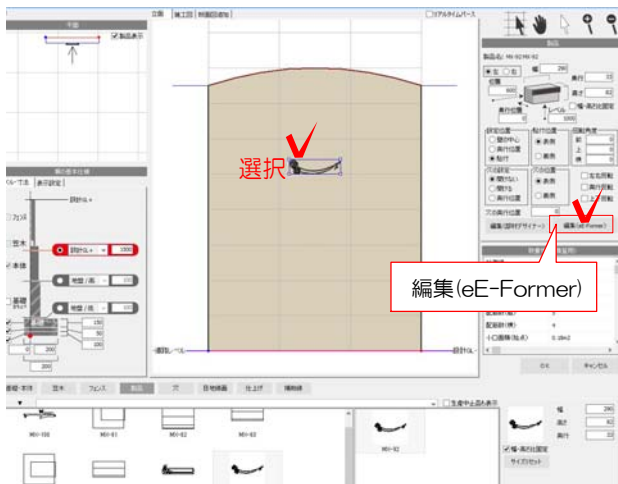


ロートアイアンやステンレスの表札に切り文字や立体文字を曲線に沿って入れる方法です。


ここでは塀デザイナーの中で表札に3D文字を作成する方法を説明します。



1：ユニットレイヤで表札を付けたい門柱を作成します。

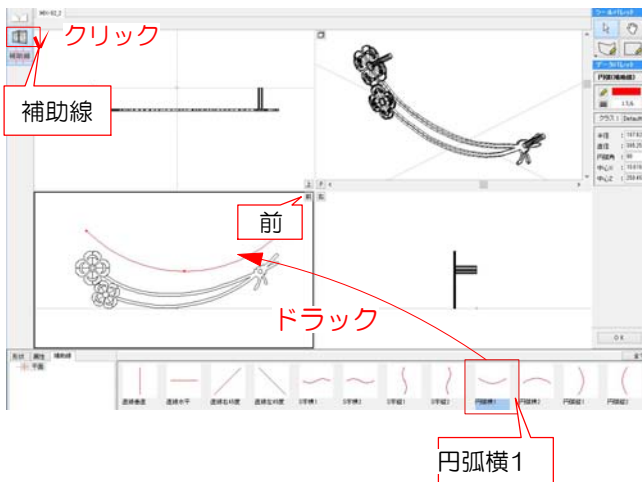


今回は
メーカー：美濃クラフト
種別：表札
シリーズ：MX
MX-92 を使用しています。

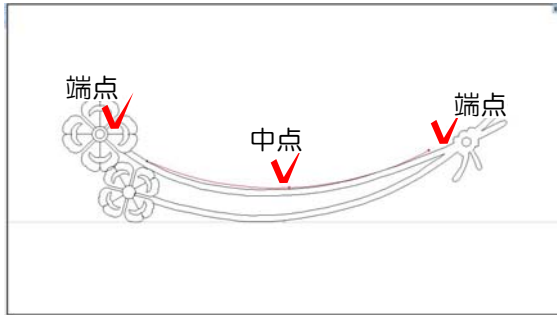
 参考 製品の検索は
[\[塀に製品を配置する方法\]](#)を検索

2：表札を選択して「編集（eE-Former）」をクリックします。


3：eE-Formerが起動します。



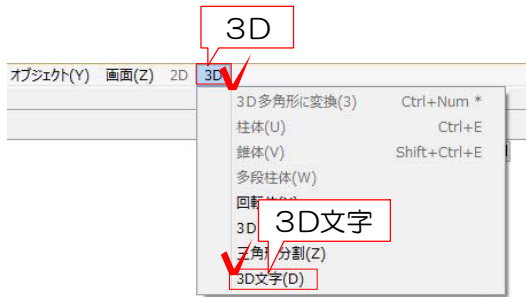
4：左上「補助線」をクリックし、補助線を前から見た画面にドラックで配置します。



5: 表札に合わせて補助線の位置・長さを調整します。

補助線の端点・中点にカーソルを近づけると  になります。クリックして動かすことができます。

※文字数やサイズによって長さを調節して下さい。



6: 補助線を選択した状態で、3Dメニューの「3D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニューを選ぶことができません。補助線が1つだけ選択されているか確認しましょう。

7: 文字列に作りたい文字を入力します。Enterキーをクリックします。

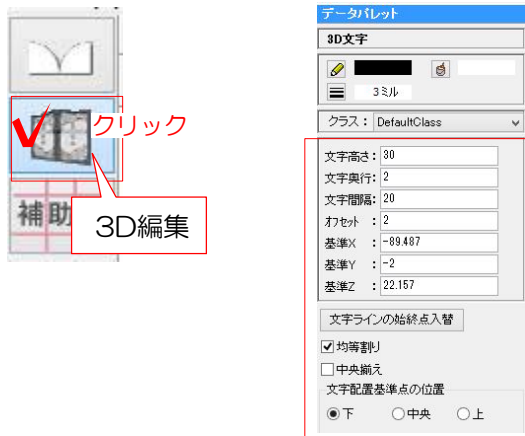
文字高・文字間隔・フォントなどを設定してOKをクリックします。

※こちらの画面では文字を作る範囲を変えることは出来ません。一度作成画面を閉じて補助線の長さを調節してから作成しましょう。




詳しくは

 [おすすめ&新機能→オーセブンCAD](#)
[11新機能→3D文字作成機能](#)

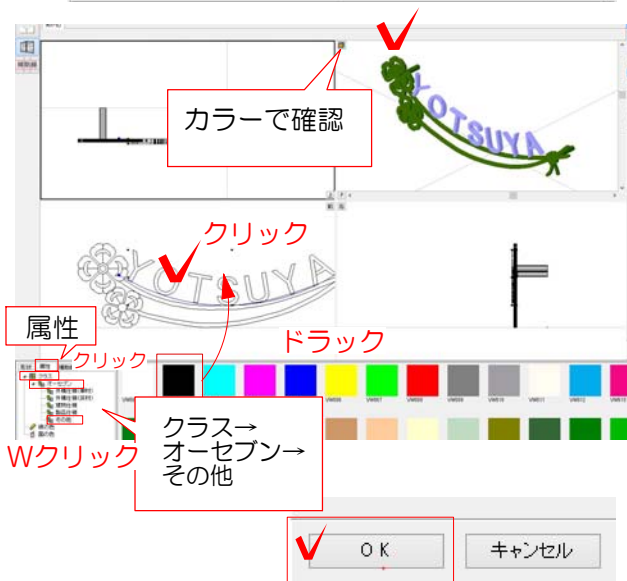
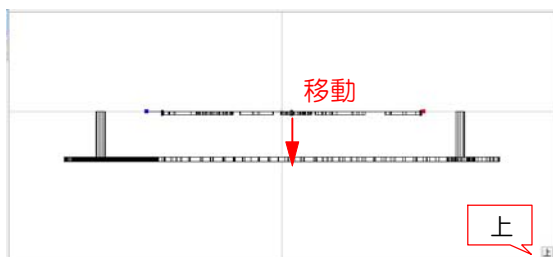


8：3D文字が出来ました。
左上の3D編集をクリックします。


 3D文字を編集したい場合は、画面右のデータパレットで数値の変更することができます。

または作成した3D文字をWクリックして編集することができます。

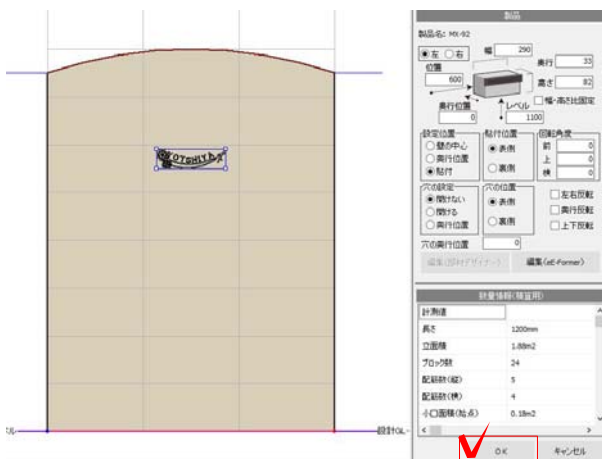
9：上から見た画面で3D文字の位置がずれている場合はドラックで移動します。



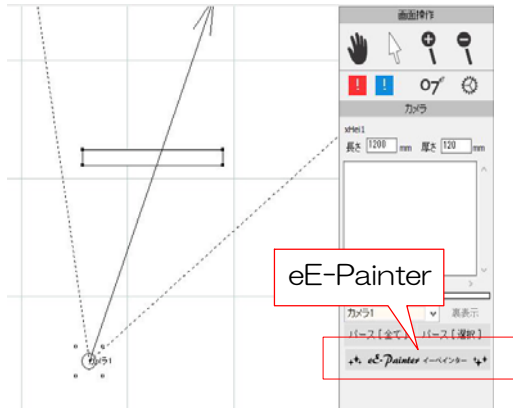
10：出来た3D文字を選択して属性→クラス→オーセブンから仕様を選びWクリックで（「P」以外の画面に）ドラックして仕様を割り当てます。

右上「P」の画面のボタン  をクリックするとカラーで確認出来ます。

11：右下の「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



12：塀に文字を作成した表札が配置されます。右下の「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。



13：カメラを設置してeE-Painterを起動します。



14：eE-Painterで確認します。
テキストを変更する場合はレンダリングをクリックしてテキストを選び、表札の3D文字にドラックします。



15：表札に沿って3D文字を作成することが出来ました。

3D文字作成機能を使って様々な立体的な文字を作成することが出来ます。